

第2号発行にあたり

6月の創刊から4箇月、前号では、これまでの経緯について紹介しました。第2号では平成21年度における「各工種の取り組み」について紹介したいと思います。

この各工種の取り組みは、毎年度末に行なわれる「土木施設長寿命化推進委員会」において、各工種担当から1年間の報告が行われます。併せて、委員会では、次年度の計画についても発表していただきます。

実際に点検等の業務に携わっている方はもちろんのこと、自分が担当している以外の工種で、今年度、どのような事が行なわれているか興味を持っていただければと思います。

県管理施設と長寿命化対象施設
(H2O, 4時点)

| 施設 | 単位 | 県管理 | 対象 | |
|-------|-------|-------|-------|----|
| 舗装 | km | 2,661 | 2,661 | |
| 橋梁 | 橋 | 3,120 | 3,120 | |
| トンネル | トンネル | 146 | 146 | |
| 水門・陸閘 | 箇所 | 214 | 212 | |
| 係留施設 | km | 34 | 34 | |
| 斜面施設 | 道路擁壁 | km | 166 | - |
| | 急傾斜法面 | 千㎡ | 351 | 33 |
| ダム | 箇所 | 2 | 2 | |
| 管路 | km | 128 | 128 | |

※舗装⇒未舗装延長を除く。トンネル⇒県境トンネルを除く。水門・陸閘⇒管理者不明水門2箇所。急傾斜法面⇒長大法面のみ対象。管路⇒流域幹線のみを対象。

発行・編集

静岡県建設技術監理センター

〒421-0122

静岡市駿河区用宗1丁目10-1

TEL 054-268-5004

FAX 054-258-6030



明石海峡大橋(中央支間長1,991mを誇る世界一の吊橋):平成10年(1998年)完成

平成21年度における対象8工種の取組

「舗装」 -道路保全室舗装係-

今年度の「舗装」における取組は、まず、国道の路面性状調査を予定しています。この調査により、舗装の状態を把握し、データベースを更新します。

路面性状調査の基本サイクル(参考)

| | | |
|----|---------------|-------|
| 国道 | | 1回/3年 |
| 県道 | 3,000台/日・方向以上 | 1回/5年 |
| | 3,000台/日・方向未満 | 1回/8年 |

また、表面処理工の試験施工と、過去の試験施工箇所の追跡調査を行います。ここで、良い経過を確認できれば、今までより効率的な維持修繕計画を立てることが出来ます。

「橋梁」 -道路整備室橋梁係-

「橋梁」の長寿命化計画は、平成15年からの「静岡県土木施設長寿命化計画」において、「舗装」とともに、計画のパイロット的な工種としてガイドラインの策定、点検の実施と検証、データベースの構築等、常に他の工種の先陣を切って、計画に取り組んできました。

今年度は、平成21年3月に策定した「静岡県橋梁中長期管理計画」を8月に公表しました。今後は、この計画に基づき、劣化が著しく早期に補修・補強が必要な橋梁から、順

次、事業を実施し本格的な長寿命化を目指していきます。

以下に、「静岡県橋梁中長期管理計画」の関係資料と、その掲載箇所を紹介します。

1 関係資料

- ・パンフレット「静岡県の橋梁の長寿命化への取り組み」
- ・「静岡県橋梁中長期管理計画 平成21年8月」概要版
- ・「静岡県橋梁中長期管理計画 平成21年8月」
- ・「土木施設長寿命化計画 橋梁補修マニュアル 平成21年8月」
- ・「土木施設長寿命化計画 橋梁ガイドライン改訂版 平成21年8月」
- ・「土木施設長寿命化計画 橋梁点検マニュアル改訂版 平成21年8月」
- ・「橋梁概略点検ポケットブック改訂版 平成21年8月」

2 掲載箇所

- ・静岡県ホームページ
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-210/>
- ・情報共有DB カテゴリ「道路」、題名「【道路整備室】静岡県橋梁中長期管理計画関係資料」

「トンネル」 -道路保全室維持防災係-

「トンネル」では、39トンネルで初回詳細点検(外部委託)を計画しています。また、職員による定期点検(詳細点検時の注意箇所を遠方目視により実施)も行い、データベースの構築・改善に取り組めます。

そのほか、職員の技術力向上のために、「点検講習会」を1回実施する予定です。

「水門・陸閘」-河川海岸整備室河川海岸整備係-

今年度の「水門・陸閘」における取組は、県内53箇所^{注1)}の全ての水門で定期点検を行ないます。定期点検は、機械・電気設備と土木構造物に分類されます。機械・電気設備の点検は委託により専門技術者が行ないます。土木構造物は、委託により専門技術者が行なう定期点検を年に1回、施設を管理する職員が行なう定期点検を年に1回行います。

また、今年度から沼津土木事務所管内の沼川昭和第2放水路水門の「長寿命化計画」を補助事業により策定する予定です。

注1) 職員の点検のみを行なう小規模水門も含む。

「係留施設」-港湾整備室港湾工事係-

「係留施設」では、従来から行っている点検に加え、今年度から長寿命化計画事業（補助：H20.4制定）を活用し、詳細な施設点検を実施し、維持管理計画の策定を順次行います。

今年度は、重要港湾以上である「清水港」「田子の浦港」より維持管理計画の策定に着手し、来年度以降その他港湾についても策定を進める予定です。

係留施設延長内訳（参考） (m)

| H20.4 現在 | 岸壁 | 物揚場 | 計 |
|----------|--------|--------|--------|
| 管理施設数 | 17,173 | 16,827 | 34,000 |

「斜面施設」-道路保全室維持防災係

・砂防室傾斜地保全係-

「斜面施設」では、既存施設の状態を的確に把握するための施設点検を行います。これまで未点検だった箇所と、過年度点検で経過観察箇所となった施設の点検を行ないます。これらの点検結果によりデータベースを拡充し、今後は維持管理の計画策定を目指します。

「ダム」-河川企画室利水係-

「ダム」における今年度の取り組みは、奥野ダム、青野大師ダムの2箇所で維持管理を行なっています。7月に供用を開始した太田川ダムは来年度から新たな管理体制とする予定です。これまでの2ダムと同様に点検・対応マニュアルによる維持管理を実施し、データベースの構築・拡充を行なうことで、今後の維持管理の計画策定を目指します。

「管路」-生活排水室流域下水道777-

昨年度に策定した、「下水道管路ガイドライン」に基づき、施設の状態把握のための点検を行い、既存のデータベースを再構築します。

また、今年度から下水道長寿命化支援制度（補助：H20.4制定）を活用し、中長期管理計画策定に向けた作業を行ないます。

注目トピック

「アセットマネジメント担当者会議幹事会」

静岡県では、アセットマネジメント担当者会議幹事会に参加し、全国の自治体とともにアセットマネジメントに関する様々な情報交換を行なっています。今後は、舗装、橋梁以外の施設についてもテーマとして取り上げる予定で、各自治体とも新たな分野への取組を開始しています。

(以下、アセットマネジメント担当者会議幹事会 HP 設立趣意書より抜粋)

アセットマネジメント担当者会議は、各地域においてアセットマネジメントの導入に積極的に取り組んでいる担当者により構成し、各担当者において蓄積された橋梁や舗装に関する知識や知見、情報などの共有・活用と、マネジメントに関する研究・開発により道路管理事業の充実や効率化を図り、もって道路交通確保に資することを目的とする。



【表紙の写真】 明石海峡大橋(愛称:パールブリッジ) 兵庫県神戸市垂水区～淡路市

明石海峡大橋は、本州と淡路島間の明石海峡に架かる橋長3,911m、中央支間長1,991mの3径間ヒンジ補鋼トラス吊橋です。この世界一の吊橋を管理する本州四国連絡高速道路株式会社は、本州と四国を結ぶ自動車専用道路の橋梁管理を一手に引き受けており、建設から維持管理まであらゆる分野で新技術を開発してきました。そのうち、塗装での長寿命化を図るための維持管理手法について、以下に紹介します。

＜塗装＞

本州四国連絡橋では、建設時に全橋梁で長期防錆型塗装系を採用しています。塗装仕様は、最も厳しい腐食環境の下で採用されるC-4塗装系（旧塗装便覧H2.6）で、最も塗替え周期が長い塗装仕様です。C塗装系は、当時の鋼道路橋塗装に適用される塗装系の中では、最も防錆性能が優れていました。その中でもC-4塗装系は、上塗りにポリウレタン樹脂塗料を上回る耐候性（日光の紫外線で劣化しにくい）を有するふっ素樹脂塗料を用いており、既に新規建設段階でライフサイクルコストの低減を図っています。

維持管理の面では、全橋梁の塗装面積が約400万㎡と膨大で、塗装費用が全体の維持管理費に占める割合は非常に大きく、下地の無機ジンクリッチペイントを健全な状態に保つ事を基本とし、下地を保護している下塗りの上層部分である上・中塗りが消耗する前に塗替えを行なっています。このため、塗膜厚、光沢度、塗膜付着度の定点塗膜調査を5年毎に行い、塗膜厚の消耗量により、下塗りの露出時期を予測し、適切な塗替え時期を決定しています。

《おしらせ》

建設部のHPに各工種のガイドラインがPDFファイルで公表されています。追加・訂正等がある場合は保竹まで。静岡県建設部アセットマネジメント関連ページ ⇒ <http://www.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030/asset/index.html>

